

JMCC通信

vol.61

発行日/2025年 10月吉日 発行/日本医療介護協同組合 〒101-0054 東京都千代田区神田錦町一丁目4番地8号

<https://jmcc.or.jp/>

“人柄が見える面接”を目指して——初の実技面接に挑戦！

施設様のご要望により、今回インドネシアで現地面接を行い、その様子をZoomで公開しました。会場はバリ島。さらにジャワ島校ともzoomでつなぎ、計12名によるハイブリッド面接を実施しました。

【初の“実技面接”に挑戦】

今回、送出し機関から提案された3種類の実技課題の中から、施設様のご要望（①人間性 ②真面目さ・勤勉さ ③協調性）を踏まえ、「ペーパータワー」を採用しました。

内容は、30枚のA4用紙を使い、3分間の作戦会議と5分間の制作時間でどれだけ高いタワーを作れるか競うもの。

チーム分けは当日、施設様と当組合で決定しました。

面接中は、3分の話し合いの中で自然にリーダーが決まり、役割分担もスムーズ。強度を考えながら折る人、全体をまとめる人と、それぞれが自分の役割を果たしていました。

終了後には一人ずつ自分の役割と反省点を発表し、短時間で協力し合う姿勢が印象的でした。見ていて感じたのは、「施設様にとってリーダータイプが良いのか？ それともサポートに徹する人が良いのか？」という点。単なる作業ではなく、人間性を感じる貴重な場面となりました。



① 3分間の作戦会議



② 自分の役割を意識し作業



③ タワーを見ながら考える



④ 隣を意識し出す



【個別面接と採用結果】

続いて個別面接では、N4取得者とN4勉強中の12名。

当組合から10の質問と1つの読解問題を行い、施設様からも直接質問をいただきました。

現時点での日本語理解力はもちろんですが、今回の施設様は“今後の上達スピード”にも注目。結果として、N4取得者1名、N4勉強中の1名が採用決定となりました。

やはり最後は「ご縁」なのかもしれません。

今回初めての実技面接でしたが、参加者の個性やチームワーク、人柄がよく伝わり、とても興味深い体験となりました。今後も、施設様と協力しながら、より“人となり”が見える面接を行ってまいります。





日本で働くために学ぶ、インドネシアの学生たちの生活



学校の規則

学生たちは団体生活の中で自然とチームワークを身につけており、部屋や共有スペースを常に整頓し、互いに気を配りながら生活していました。こうした習慣は、単なる生活指導ではなく、協調性や責任感を育む大切な経験となっています。



学生寮



げた箱



シャワー室

シャワー室やトイレも清潔に保たれ、寮の部屋も整理整頓されていました。文化や生活習慣が異なる中で、こうした規律ある生活を経験していることは、日本で働く際にも本人にとって大きな助けになると感じましたし、一緒に働く方にとっても安心できる環境だと思いました。

さらに、この送出し機関では生徒の約6割が介護施設に送り出すとすることで、介護教育にも力を入れています。廊下には介護技術のパネルが掲示されており、「本気で介護の仕事をするために日本に来る」という強い意志が伝わってきました。



介護技術



アカデミーの規律

インドネシアでは平均月収が3～5万円とのこと。このように厳しい規律のもとで学び、協調性や丁寧さを身につけた学生たちは、日本での介護現場でもその真面目さと努力を活かせることでしょう。



介護教科書



入国前研修テキスト

お問い合わせは
こちらへ



日本医療介護協同組合 <https://jmcc.or.jp/>

〒101-0055 東京都千代田区神田錦町1丁目4番地8号

ブローカードビル B1F

TEL 03-3221-7010

有料職業紹介事業許可番号 13-ユ-311547
監理団体許可番号許 1804000187
登録支援機関登録番号 20登-003476

